

第1学年 体育科 学習構想案

日 時 令和3年11月22日(月) 第5校時

場 所 荒尾市立中央小学校体育館

指導者 教諭 畑野 安耶

1 単元構想

単元名	中央小ジャンプオリンピック		
単元の目標	(1) 跳の運動遊びの行い方を知るとともに、助走を付けて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようにする。 (2) 跳の運動遊びの簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① いろいろな跳び方を知り、助走をつけてしっかり地面を蹴って前方に跳ぶことができる。 ② 前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができる。	① 前方に跳ぶ距離、間隔などいろいろな運動遊びの中から自己に適した運動遊びの場を選んでいる。 ② 友達のよい動きを見つけたり、考えたことを友達に伝えたりしている。	① 跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ② 前方に跳ぶ距離、間隔など友達と協力しながら場を作ったり、走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けたりしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
いろいろな跳び方を知り、仲間と声をかけ励まし合いながら場や遊び方を工夫するとともに、その他の運動遊びに生かしたり、進んで運動遊びに取り組んだりする児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
みんなが楽しめる中央小ジャンプオリンピックをしよう。		前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりしたりして「する」、友達の動きを「見る」、友達と協力したりして「支える」、跳び方等を「知る」といった運動遊びとの多様な関わり方で楽しむこと。	
指導計画と評価計画（5時間取扱い 本時3/5）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認 ・いろいろな跳び方を知る。	【知①】（観察・学習カード） 【態①】（観察・学習カード）
二	1	○幅跳びランドを楽しむ。（本時） ・準備運動 ・幅跳び遊びをする。 ・グループで幅跳び遊びの場（幅跳びランド）を作る。 ・友達のよい動きや考えたことを伝え合う。 ・自分が選んだ場で楽しむ。	★【思①】（観察・発言・学習カード） ○前方に跳ぶ距離、間隔などいろいろな場を試しながら、自己に適した場を選び、楽しんでいる。
	1	○ケンパー跳びランド遊びを楽しむ。 ・準備運動 ・ケンパー跳び遊びをする。 ・グループで遊びの場（ケンパー跳びランド）を作る。 ・友達のよい動きや考えたことを伝え合う。 ・自分が選んだ場で楽しむ。	★【思①②】（観察・発言・学習カード） ○友達のよい動きを見つけたり、考えたりしたことを伝えている。 ○前方に跳ぶ距離、間隔などいろいろな場を試しながら、跳びやすい場を選び、楽しんでいる。
三	1	○みんなが楽しめる中央小ジャンプオリンピックをしよう。 ・準備運動 ・グループで遊びの場（幅跳び遊び、ケンパー跳び遊び）を作る。 ・友達のよい動きや考えたことを伝え合う。 ・もっと楽しい場になるよう工夫する。 ・自分が選んだ場で楽しむ。	【知②】（観察・学習カード） 【態②】（観察・学習カード）

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校指導要領第1学年及び第2学年 [知識及び技能] (イ) 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。 [思考力, 判断力, 表現力等] (ア) 走の運動遊びや跳の運動遊びの簡単な遊び方を選ぶこと。(ウ) 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えること。 [学びに向かう力, 人間性等] 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。				
運動の価値				
走・跳の運動遊びでは、「走の運動遊び」及び「跳の運動遊び」で構成され、いろいろな方向へ走ったり、低い障害物を走り越えたり、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりするなどの基本的な動きに取り組んだり、楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。				
本単元における系統				
第1学年及び第2学年 走・跳の運動遊び (ア 走の運動遊び)	第1学年及び第2学年 走・跳の運動遊び(イ 跳の運動遊び) 「中央小ジャンプオリンピック」			
	第3学年及び第4学年 走・跳の運動 (ウ幅跳び エ高跳び)			
	第5学年及び6学年 陸上運動 (ウ走り幅跳び エ走り高跳び)			
児童の実態 (単元の目標につながる学びの実態) 30人 (男子17人、女子13人) 未実施1人				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 (人)				
調査内容	概ね(6割～8割程度)	十分(8割以上)		
片足や両足で連続して跳ぶことができる。	4	25		
太鼓のリズムに合わせてケンパーで跳ぶことができる。	5	24		
安全に気を付け、きまりを守って運動遊びに取り組むことができる。	6	23		
■本単元の学習に関する意識の状況 (人)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
進んで体育の学習に取り組んでいますか。	18	10	1	1
友達の良い動きを見付けたり、考えたことを伝えたりしていますか。	12	16	1	1
きまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。	24	6	0	0
■考察 (資質・能力に関して) 全ての児童が片足や両足で上に跳ぶことができるが、両足で連続して前に跳ぶと着地が揃わない児童が数名いる。跳び遊びに初めて取り組むため、様々な跳び遊びを通して、踏み切りや跳び方を指導していくとともに、場を変えながら楽しみ方を考えさせていく必要がある。 (学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から学びの状況を見ると、進んで体育の学習に参加している児童が多いが、その割合に比べると友達の良い動きを見付けたり、考えたことを伝えたりすることがあまりできていない。さらに、友達のよい動きを真似し、自分の中に取り入れようとしている児童は少ないため、友達の良い動きや考えたことを交流させたり、交流したことをもとに動きが変わった児童を賞賛したりする場面を多く設定し、自分の思いが伝わった喜びを実感させる学習が必要である。				

3 指導に当たっての留意点

- (研究仮説1 視点1: 学習過程の工夫)
 - ・児童の実態を把握し、単元を構成する。オリエンテーションで学習の流れを十分に確かめ、幅跳び遊びとケンパー跳び遊びを同様の学習の流れで活動を行うことで、運動量を確保し、無理なく運動に楽しむことができるようにする。
 - ・単元の学習課題を「みんなが楽しめる中央小ジャンプオリンピックをしよう。」と設定し、幅跳びランドとケンパー跳びランドから構成することで、目的をもって意欲的に学習に参加できるようにする。
- (研究仮説1 視点2: 学習活動の工夫)
 - ・4つの場で、グループで試しながら幅跳びランドやケンパー跳びランドを作ることで、多くの運動遊びに触れることができるようにする。
 - ・学習課題の「みんなが楽しめる」という言葉に立ち返らせ、友達を励ましたり、友達に助言をしたりしている児童を積極的に称賛するとともに、出てきた言葉を掲示し、協力し合う雰囲気を作るようにする。
 - ・授業の途中や振り返りの場面で、よい動きをしていた友達を紹介する時間を設けるようにする。
- (研究仮説2 視点3: 児童の運動や健康に関する実態の把握)
 - ・授業の振り返りシートは、年間通して同じような形式にし、書き溜めていくことで、1人1人の伸びやよさを実感させるとともに、次の指導に生かすようにする。
- (研究仮説2 視点4: 環境作りと日常活動の工夫)
 - ・学習したことについて、休み時間や家庭でもできる運動遊び等について取り上げ、日常的な運動遊びの機会を増やすようにする。

4 本時の学習

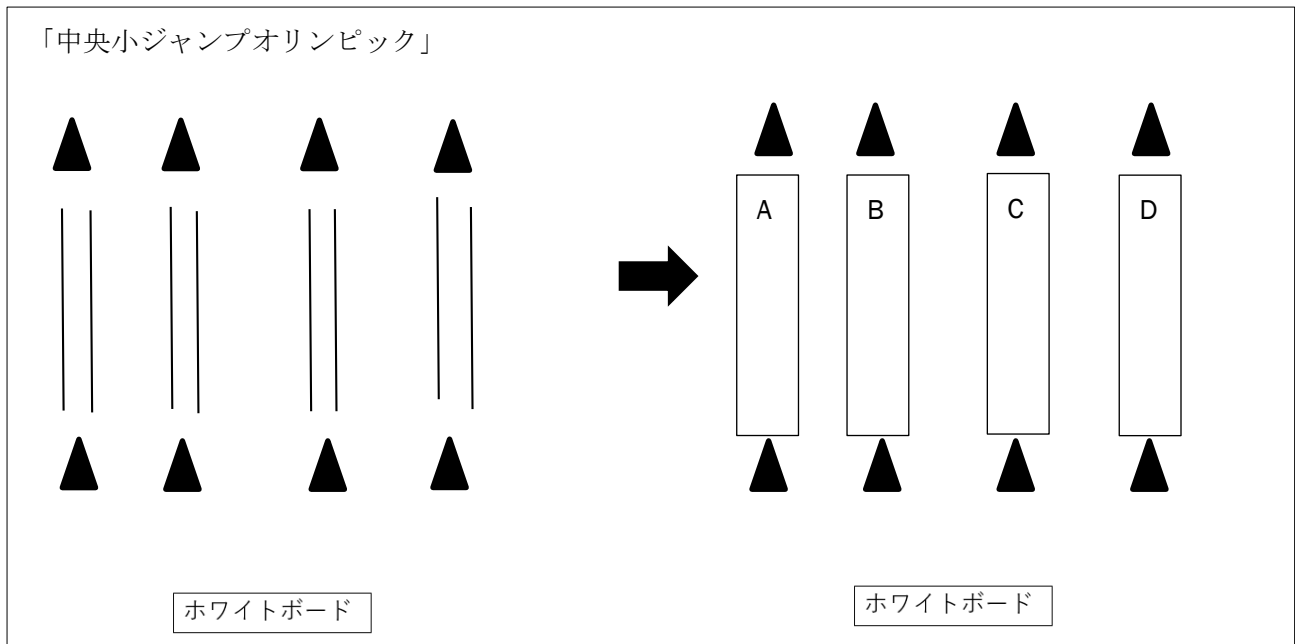
(1) 目標

前方に跳ぶ距離、間隔などいろいろな場を試しながら作り、自己に適した場を選び、楽しんでいる。
(思考、判断、表現力)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>① 準備運動をする。 ◇ しっかり伸ばしましょう。</p> <p>② 跳び遊びをする。 ◇ 太鼓リズム跳び、あしじゃんけん、だんごむしゲームをしよう。</p> <p>③ 場の準備をする。 はばとびランドを準備しよう。</p>	<p>○本単元の基本的な動きを、遊びを通して、楽しませる。</p> <p>○前時で学習した4つのランドを振り返り、他にどんなランドができそうなのかを問う。</p>
<p>【めあて】自分達の幅跳びランドをつくって、お気に入りのランドで楽しもう。</p>			
展開	27分	<p>2 課題解決に向けて活動する。</p> <p>① グループで幅跳びランドを作り、楽しむ。 ◇ ここを曲げたら楽しくなりそうだな。 ◇ 箱や島を置くと、みんながおもしろくなりそうだな。</p> <p>② 他のグループが作った幅跳びランドを楽しむ。 ◇ このグループのランドがジグザグしていて楽しいな。</p> <p>【期待される学びの姿】 グループの友達と話し合ったり、試したりし、跳び方や幅の形を考え、オリジナルの幅跳びランドを作り、活動している。</p> <p>③ 自分のお気に入りのランドを選んで楽しむ。 ◇ このランドを選んで跳ぼう。</p>	<p>○試しながら自分達の幅跳びランドを作らせる。</p> <p>○活動中はBGMを流し、楽しい雰囲気を作る。</p> <p>○全体の共有の場では、友達を励ましたり、友達に助言をしたりしている児童を積極的に称賛する。</p> <p>○よい動きをしていた児童を紹介したり、よい動きの友達を紹介させたりし、真似をしてよいことを確認する。</p>
<p>【具体の評価規準】思① ○グループの友達と協力し、試しながら幅跳びランドの場を作り、お気に入りの場を選び、楽しんでいる。 (方法：観察・発言・学習カード)</p>			
<p>【到達していない児童への手立て】 ○友達の跳び方を真似ながら跳ばせ、自分に合った場が選べるように、寄り添いながら指導する。</p>			
終末	8分	<p>3 めあてに対する振り返りをする。</p> <p>① 今日の学習を振り返る。 ◇ 私は○○ランドを選びました。くねくねとジグザグが混ざっていて楽しかったです。</p>	<p>○学習カードをもとに振り返りを行う。</p> <p>○友達のよい動きやよい言動を認め合えるような言葉かけをする。</p>
<p>【まとめ】幅跳びランドでは、ジグザグとくねくねを組み合わせることで楽しむことができました。</p>			
		<p>② 場の片づけをする。 ◇ グループで協力して、片付けまで頑張ろう。</p>	<p>○グループの友達と協力して、安全に片付けるようにする。</p>

【場の設定】



【ICT活用計画】

電子黒板による場の設定や練習方法、技のポイントなどの提示

- ・電子黒板でいろいろな場の作り方の写真や跳び方の動画を提示し、課題に迫る動きや遊ぶ場のイメージを共有する。
- ・よい動きをしている児童をタブレットで撮影し、電子黒板を使って提示することで、友達のよい動きの真似ができるようにする。

【見方・考え方を働かせて、終末や次時以降の学習に生かす計画】

味方・考え方を働かせ、単元の終末で次の単元に取り組んだり、次時以降の学習に生かしたりする。

- 例1：単元の終末に「中央小ジャンプオリンピック」を設定し、学習の成果を発揮できるようにする。
- 例2：協力して準備や片付けを行ったり、場を作ったりすることで、今後の体育の学習においても何事も協力して取り組み、みんなが楽しめる活動をしようと態度を養っていけるようにする。
- 例3：いろいろな跳び方について経験した運動感覚を生かし、「F表現リズム遊び ア表現遊び イリズム遊び」において、スキップで弾むとともに、跳びながら表現する箇所決めたりして遊ぶ。